

「市原市公共施設再配置モデルケース」について

市では、公共施設の老朽化等の諸問題に対応していくため、そのモデルケースとして八幡宿駅西口の7施設を対象に、機能集約、複合化等による公共施設再配置について、今年度から2ヶ年で検討します。検討は、地域の住民や関係する団体の皆様とワークショップ等を行いながら進めます。

【モデルケースの対象7施設】

八幡宿駅西口側、概ね1km圏内にある以下の施設を対象としています。

- ①八幡公民館(八幡 1050 番地 1)
- ②市原青少年会館(八幡 1126 番地 1)
- ③市原市武道館(八幡 1272 番地 3)
- ④教育センター(八幡 20 番地)
- ⑤市原支所(八幡 1050 番地 3)
- ⑥八幡認定こども園(八幡 1050 番地 1)
- ⑦青少年指導センター(八幡海岸通 1969 番地 44)

【ワークショップでの検討内容】

機能集約等の対象、配置、規模・機能などの具体的な内容について、ワークショップ案としてまとめ、市はその案をもとに、再配置に係る基本計画を策定してまいります。

【ワークショップ(第2回)の概要】

- 1 日時 平成30年12月1日(土) 午後1時～午後5時
- 2 会場 八幡公民館 講堂 (市原市八幡 1050 番地 1)
- 3 内容 公共施設見学ツアー、テーブルワーク、グループ発表
- 4 参加者 地区町会長会、施設利用サークル団体や青少年育成関係団体、商工会議所からご推薦いただいた、全32名
- 5 その他 10月28日(日)に第1回目のワークショップを開催し、全体のガイダンスとして、公共施設再配置の必要性や対象施設の概要を共有しました。

問合せ先

市原市 資産経営部 公共資産マネジメント推進課 TEL 0436-23-7007